令和３年度　大分教育事務所　所長通信

2021「山ちゃん通信」No,212

2022, 1, 12
文責：山香 昭

飛込授業第 23 弾　**「教室にあふれさせたい言葉」「教室から無くしたい言葉」「3/26 に言われたい言葉」**

由布市立挟間小学校２年１組の子ども達と言葉について楽しく学びました

「いっしょにかえろう。」といったら「ありがとう。」といわれるかもしれません。あと、「おちていたよ。」といったら「ありがとう。」といわれるかもしれません。

ありがとうございました（山香昭）

NO,687　2022年1月　由布市立挟間小学校

意思表示

自分の思いは、行動しないと伝わらない。さあ、勇気を出して表現してみよう。

２年１組の教室には温かい言葉があふれ、拍手、笑顔、うなずき等の共感的な空気を感じました。そのため、子ども達は自分らしさを出しながらも、友達の考えから学んでいました。一人をつくることなく、個人、集団、個人への切り替えもはやく、最後まで集中力を持って参加していました。全校で「ふりかえり」について研究を行っていることから、子ども達は書くことに慣れており、教室には鉛筆で書く音しか聞こえませんでした。参観していた先生から「いつでも３年生になれますね」という、賞賛と成長への期待の言葉を受け、子ども達の満足した顔が印象的でした。

NO,686　2022年1月　由布市立挟間小学校

支える人

相手の発言を笑顔で聴く。うなずく。共感する。そっと背中を押す。そんな友達がいるから自分を出せる。

NO,688　2022年1月　由布市立挟間小学校

スピードアップ

多くの人の考えを知りたい。自分の考えを伝えたい。やる気とスピードは比例する。

（３月26日）に言われたい言葉

いままでありがとう、また同じくらすになりたいね。

↑のために、今日からがんばること。　授業のかんそう。

やさしいことばをつかう。わるぐちをつかわない。ふ。ぼくは、いろんなやさしいことばをいわれてほしいから、自分がきをつけたいです。

わたしは、しねとかを、いったらじぶんにかえってくるからしったくありませんでした。

わたしが今日からがんばることは、やさしいことばをたくさんつかって、自分がいわれたいことばをつかいます。なぜかというと、自分のいったことは、自分の耳に入ってきて、自分がいやな気もちになるからです。

ありがとうございました（山香昭）

放課後は先生方も学びました

挟間小の全教職員が参観し、子どもの変容の姿から学びました。全校をあげて、学び合いやふりかえりを大切にしているので、今回の飛込授業で、その成果が見事に発揮されたようです。何よりも、先生方の学ぶ姿が素晴らしかったです。

NO,689　2022年1月　由布市立挟間小学校

楽しく学ぶ

正しいことは伝わりにくい。楽しいことは伝わりやすい。正しいことを楽しく伝えよう。

やさしいことばをつかってけんかといいあいがないようにします。みんなでなかよくして友だちをふやしたいです。あふれさせたいことばをいっぱい考えられました。友だちのいけんをきいてみようなと思いました。

ありがとうございました（山香昭）

NO,679　2022年1月　由布市立挟間小学校

拍手と笑顔

拍手は、された人だけでなく、している人も笑顔になる。みんなが笑顔になっている。

NO,678　2022年1月　由布市立挟間小学校

ほめるは対等

ほめるとは、相手の価値を発見して伝えること。だから、誰に対してもほめていい。

NO,676　2022年1月　由布市立挟間小学校

大人の笑顔

大人が楽しそうなら、子ども達は、はやく大人になりたいと思う。子ども達のためにも笑顔でいよう。